

普及活動情勢報告（令和5年4月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

キャベツの収量・出荷予測へ向けて！～南国市土地利用型園芸農業検討協議会～



基盤整備される大規模農地

3月20日、南国市土地利用型園芸農業検討協議会が開催され、生産者、企業、大学等計21名が参加しました。

南国市では、国営緊急農地再編整備事業を契機に露地野菜の生産拡大を推進しており、当協議会ではドローンを活用したキャベツの生育状況の見える化に取り組んでいます。

今回は、ドローンの空撮画像の解析によるキャベツの欠株判定を行い、実測値と比較してほぼ同等の精度で判定できたことから、生産者からも「実用可能だ」との評価が得られました。

今後は、当技術の実用化に向けた実施体制を検討する必要があり、農業改良普及課では、引き続き関係機関と協力し取組を支援します。

発芽の様子は良い感じ？～温室金柑研究会現地研修会～



幼木のせん定の指導を行う
普及指導員

4月12日、J A高知県香美地区果樹部温室金柑研究会が現地研修会を開催し、生産者7名が参加しました。

農業改良普及課は、大玉果を目指した管理ポイントと幼木のせん定について実演、指導を行いました。

ほ場の巡回では生産者から「前作はカイガラムシが発生して品質が悪かった」といった反省の声や「今年は暖かく発芽が早いため、何か気をつけることはあるか？」といった声が聞かれたため、防除やハウスの開閉について指導を行いました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、温室金柑の大玉生産安定に向けて支援します。

収量アップには初期の管理が大事です！～露地オクラ現地検討会～



換気の時期と穴の開け方が
ポイント！

3月28、29日、J A高知県土長地区園芸部オクラ部会が現地検討会を開催し、生産者15名が参加しました。

農業改良普及課は、トンネル換気のタイミングや換気穴の開け方についてポイントを説明しました。

生産者からは「は種時のかん水が少ない場所は発芽が悪い、どのくらいかん水が必要か」「換気穴は何で開けているか」などの質問が出され、生産者が自作の道具で実演するなど活発に意見交換が行われました。また、J Aや生産者と協力して作成した栽培マニュアルを配布し、今後の栽培管理での活用を呼びかけました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、オクラの収量向上に向けて支援します。

今から来作への準備を始めよう！～なす部会現地検討会～



資料を見ながら意見交換

3月29日、JA高知県香美地区なす部会が現地検討会を開催し、生産者11名が参加しました。

農業改良普及課からは、ハウス内環境及び生育調査結果、来作の天敵利用のためのゴマやクレオメの準備について説明しました。

生産者からは「来作に向けて早めに準備を始める」といった声がありました。また、ほ場の巡回中には「ハウスの各柱の下にゴマを植えたら良い」など、生産者同士で意見交換する姿が見られました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、環境に配慮したナスの生産安定に向けて支援します。

佐賀県先進地事例調査（視察研修）～温室みかん部会～



高収量園地での研修の様子

4月3、4日、JA高知県香美地区果樹部温室みかん部会は、ハウスミカンの栽培面積・生産量ともに全国1位の産地である佐賀県への視察研修を行い、部会員や関係者ら計15名が参加しました。

現地では、高収量園地の栽培管理技術について学び、生産者からは「スプリンクラーの樹上かん水でのメリットは？」「天敵の利用状況はどのような感じか？」など多くの質問が出されました。

農業改良普及課は、研修内容を取りまとめ、参加できなかった生産者に現地研修会で情報共有しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力し、温室みかんの高品質安定生産を支援します。

指導農業士との新たな担い手確保に係る意見交換会



意見交換会の様子

3月23日、中央東農業振興センターで新規就農支援に係る意見交換会を開催し、指導農業士、市役所（香美市・香南市）、農業担い手支援課及び農業改良普及課の計22名が出席しました。

農業改良普及課は、会の企画及び意見交換の司会を務めました。

指導農業士からは「資材価格の高騰など厳しい情勢が続いている。独立自営就農を勧めて良いものか」「私たち指導農業士の経営が順調で、研修生等から憧れを持たれるような経営ができれば、新規就農者の定着率も向上するのではないか」などの意見が出されました。

農業者にとって厳しい情勢が続いていますが、農業改良普及課は関係機関と連携し、就農希望者の円滑な就農に向けて支援します。